

# とちぎ米産地だより 【1月号】

<24年産のとちぎ米に関する情報をいち早くお届けします！>

第10号 平成25年1月8日(火)  
発行責任者:JA全農とちぎ 米穀課

## 1. とちぎ米生長日記

### 1月の冬の田んぼ作業 麦踏み

栃木県南部は米に加えて麦の生産も多く、米の収穫後には多くの地域で、水田を利用した麦の二毛作栽培が盛んです。そのため冬には生長した麦を踏みつける麦踏み作業が行われます。

#### 『麦踏み』の効果

麦踏み作業は土壌を鎮圧するので、土の乾燥や、根の浮き上がり(凍上害)を防ぐ効果があります。さらに、踏みつけられることで、麦が一時的に水分不足となり、茎葉が硬くなり、根が良く伸びて寒さに強くなります。

また、幼穂分化を遅らせ、生育を揃え、分けつが増えることで収量増加に繋がります。昔の麦踏み作業は足踏みが普通でしたが、今ではローラーを付けたトラクターで作業が行われています。



## 2. 栃木県のイベント情報

### あしかがフラワーパーク イルミネーション

●開園時間 / 入園料●	●料金●
土日祝(PM3:30~PM9:30)	大人 600円
平日(PM3:30~PM9:00)	小人 300円

あしかがフラワーパークは、広さ92,000㎡の日本最大規模の藤のガーデンです。年間を通じて四季折々の花を楽しむことができ、毎年50万人以上の来園者を迎える「ふじのはな物語～大藤まつり～」の時期には350本以上の藤が咲き誇ります。

あしかがフラワーパークが1月27日(日)まで開催しているイルミネーション『光の花の庭』は「日本夜景遺産認定」や北関東唯一の「関東三大イルミネーション認定」を受けており、今年のyahooイルミネーションランキングでは**全国2位**を獲得しました！！(12/25時点)

園内は180万の電球によって彩られた、星座やトナカイ、高さ23mにも及ぶクリスマスツリーのイルミネーションがカラフルに輝いています。

中でも見どころは、藤の花で有名なフラワーパークの紫色の大藤ときばな藤・白藤のイルミネーション。風に揺らめく様はまるで本物のような見ごたえです。



★きばな藤のトンネル★

さらに2012年度には、3,500㎡の新エリアにて、光の壁画に心安らぐ「日本の四季」ゾーンが登場しました。誰しもの心に残っている古き良き故郷の情景を感じることができます。

また「花占い」のイルミネーションでは、体験型のイルミネーションとしてボタンを押すと光と音楽の演出を楽しむことができます。



★ 高さ23mのクリスマスツリー ★

アクセス : 栃木県足利市迫間町607  
連絡先 : 0284-91-4939

### 3. 産地紹介 ～栃木県内のJAを紹介します！～

## JA足利

JA足利は、東京から北へ約80kmの位置にあり、東は佐野市、西は群馬県桐生市、南は群馬県太田市・館林市、北は佐野市に接しており、東西18.8km、南北19.1km、総面積177.82平方kmです。海拔662.9m松田町仙人ヶ岳より、海拔22.5m瑞穂野町に至る起伏に富んだ地勢をなしており、足尾山系の支脈に囲まれ、山地が西北部から中央部近くまで森林をなし、中央部から、内に渡良瀬川が流れ南に関東平野が広がっています。山地が総面積の45.3%であり、耕地は16.0%です。耕地の87.7%が水田です。

気象は、地勢の影響で、西北部は山地型で日照時間が比較的短く、気温の差が大きく、地帯により複雑に変化しているため、凍霜害や干害の気象的災害を被ることがあります。中央部以南は平坦で比較的温和な地帯です。気温は、年平均15.6度、降水量は、年平均1,188ミリで冬から春にかけて乾燥した西風が強いです。

管内の農業は、渡良瀬川より南に広がる水田を中心に、米・トマト・いちご・大根・人参・麦などが作られ、また畜産が営まれています。特に足利地方は冬、太陽の光が多いため、ハウス野菜の産地となっています。渡良瀬川の東北部では、圃場整備が完了し米麦を主体とし、簡易なビニールトンネルによる大根・人参などが導入されています。南部は広大な平坦地で、用水の完備した豊かな水田地帯となっています。特にトマト・いちご・きゅうりなどの施設野菜が導入されており、県下有数の産地となっています。さらには、トルコギキョウをはじめとする花卉の生産も行われています。西部は、経営面積が小さく自給的農家が多いが、山間部では傾斜した耕地を利用してゆずを取り入れています。



## JA足利産 あさひの夢

◆「あさひの夢」とは・・・栃木県南部を中心に作付けされている「あさひの夢」は、適度なねばりを持ち、やや大粒で光沢がある、舌触りの良いさっぱりとしたお米です。栽培性にもすぐれ、縮葉枯病・いもち病にも強い特徴を持ち、栃木県の奨励品種の1つとなっています。

◆JA足利の「あさひの夢」・・・JA足利管内で最も生産量の多いお米の品種が、あさひの夢です。管内の集荷量はおよそ1,000tと、集荷全体の約99%を占める足利の主力品種です。足利市内には3基のライスセンターが稼働しており「ばら」集荷率が92%と高い為、品質の安定した安全・安心なお米を供給しております。

◆業務用向きである理由・・・一般的に業務用と呼ばれる外食・中食向けのお米は、食味・品質に厳しい条件が求められます。この厳しい条件に応えるのが「あさひの夢」なのです。一等米比率が高いことに加えリーズナブルな価格設定であることから、業務用途の人気の高いです。粘り気が少ない特徴から、特に丼物などの相性は抜群です。



※ 問合せ先 ※

◆内容に関する、ご意見、ご質問、ご感想も、是非、お寄せください。  
JA全農とちぎ 米穀課 電話:028-626-2174 FAX:028-621-2037